

事業番号 2022 - 文科 - 新22 - 0010

令和4年度行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	AI等の活用を推進する研究データエコシステム構築事業			担当部局	研究振興局	作成責任者				
事業開始年度	令和4年度	事業終了 (予定) 年度	令和8年度	担当課室	参事官(情報担当)付	学術基盤整備室長 藤澤 亘				
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する 計画、通知等	第6期科学技術・イノベーション基本計画(令和3年3月26日閣議決定) 経済財政運営と改革の基本方針2021(令和3年6月18日 閣議決定) 統合イノベーション戦略2021(令和3年6月18日 閣議決定) 等					
主要政策・施策	科学技術・イノベーション			主要経費	文教及び科学振興					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	研究DXにより新たな科学的手法の発展や魅力的な研究環境の構築、生産性の向上を実現するために、様々な分野とも連携し、全国的な研究データ基盤を中心に研究データ利活用の仕組みを構築することで、オープンサイエンスとデータ駆動型研究等を促進する。									
事業概要 (5行程度以内。別添可)	オープンサイエンスとデータ駆動型研究等を国際水準で促進し、我が国の研究力の飛躍的発展を図るため、分野・機関を越えてデータを共有・利活用するための全国的な研究データ基盤の構築・高度化・実装等を行う研究DXの中核機関群(※)を支援する。また、中核機関群では、全国的な研究データ基盤等の利用を促進するため、全国の大学・研究機関・産業界によるデータ駆動型研究の支援や、研究DXを進めるための環境整備として、データマネジメントに係る人材育成の方策の検討・実施、研究データの取扱いに関するルール・ガイドライン等の整備も行う。 ※ 上記取組を効果的に実施するため、研究データ基盤の構築・高度化・実装の中心的役割を担う機関(中核機関)が、複数の関係機関(共同実施機関)と有機的に連携した体制を構築する。 (補助率:定額)									
実施方法	補助									
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求			
		補正予算	-	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-	-			
		計	0	0	0	991	1,322			
	執行額	0	0							
	執行率(%)	-	-	-	-	-				
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	-	-	-	-	-					
令和4・5年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由						
	補助金	990	1,321	大学における研究データマネジメントにかかる体制・ルール整備支援等重要政策推進枠:331百万円						
	事務費	1	1							
	計	991	1,322							
活動内容 (アクティビティ)	研究DXの中核機関群を支援し、分野・機関を越えてデータを共有・利活用するための全国的な研究データ基盤の構築・高度化・実装等を実施									
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込	
	研究データ基盤の構築・高度化・実装の実証	研究データ基盤の新機能の開発	活動実績	件	-	-	-	-	-	
			当初見込み	件	-	-	-	0	7	
単位当たり コスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	交付金額/中核機関群の数			単位当たり コスト	百万円	-	-	-	990	
				計算式	百万円/ 機関数	-	-	-	990/1	

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 6年度	目標最終年度 8年度
	令和8年度までに機関リポジトリを有する研究機関の大部分がデータを登録することを旨とする	全国的な研究データ基盤にデータを登録する機関数 ※中核機関群の選定後に目標値について検討		成果実績 件 目標値 件 達成度 %	-	-	-	-
活動内容 (アクティビティ)	研究DXの中核機関群を支援し、分野・機関を越えてデータを共有・利活用するための全国的な研究データ基盤の構築・高度化・実装等を実施							
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込
	構築が進む各機関・各分野のリポジトリやデータプラットフォームとの連携・接続を推進する。	全国的な研究データ基盤と接続・連携する個別分野等のデータプラットフォーム数		活動実績 件 当初見込み 件	-	-	-	1
単位当たり コスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込
	交付金額／中核機関群の数			百万円 計算式 百万円/ 機関数	-	-	-	990
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 6年度	目標最終年度 8年度
	令和8年度までに全国的な研究データ基盤から、各機関・各分野のリポジトリやデータプラットフォームの検索可能な研究データのメタデータの増大を目指す	全国的な研究データ基盤で検索可能な研究データのメタデータ数 ※中核機関群の選定後に目標値について検討		成果実績 人 目標値 人 達成度 %	-	-	-	-
活動内容 (アクティビティ)	中核機関群において、全国的な研究データ基盤等の利用促進や大学・研究機関における研究DX推進のための環境整備を実施							
単位当たり コスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込
	交付金額／中核機関群の数			百万円 計算式 百万円/ 機関数	-	-	-	990
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 6年度	目標最終年度 7年度
	令和7年度までに機関リポジトリを有するすべての国立大学法人・大学共同利用機関法人・国立研究開発法人がデータポリシーを策定している状態を目指す	機関リポジトリを有する国立大学法人・大学共同利用機関法人・国立研究開発法人におけるデータポリシーの策定率		成果実績 件 目標値 件 達成度 %	-	-	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	第6期科学技術・イノベーション基本計画							
政策 評価 書 URL	政策	8 知のフロンティアを開拓し価値創造の源泉となる研究力の強化						
	施策	8-3 オープンサイエンスとデータ駆動型研究等の推進	政策評価書 URL	https://www.mext.go.jp/content/20221012-mxt_kanseisk01-000024706-05.pdf				
該当箇所	施策目標8-3-2 達成目標1							

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	「第6期科学技術・イノベーション基本計画」等において、社会全体のデジタル化や世界的なオープンサイエンスの潮流を捉えた研究そのもののDXを通じて、より付加価値の高い研究成果を創出し、我が国が存在感を発揮することを目指すことと定められており、本事業を着実に実施し研究開発を推進する必要がある。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	経済財政運営と改革の基本方針2021(令和3年6月18日閣議決定)においても、研究の生産性を高めるため、研究DXを推進するとしており、成長戦略フォローアップ2021でも多様な分野の研究データを戦略的に収集・共有・活用する取組の強化を行うこととしているように、研究DXの推進や研究データの利活用の促進は政府全体の方針として定まっており、国が積極的に進めていく必要がある。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	全国的な研究データ基盤の高度化を通じて研究データの利活用の促進を進めることは、新たな知の創出への貢献など、科学的・技術的意義に寄与するのみならず、社会的・経済的にも意義があることが期待されるため、本事業は政策体系の中で優先度の高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	中核機関群の選定に当たっては、公募要領等を定めたくえて公募を行い、第三者委員会において審査・選定するなど、競争性、妥当性を確保している。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	国費の効率的な投入と、事業実施機関における自主経費の支出のバランスに考慮した事業運営を行う。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	当該事業に最低限必要な額に限定して交付するとともに、中核機関群からの申請や額の確定等によりこれを確認する。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	中核機関群からの申請や額の確定調査において、支出の合理性・用途について適切であることを確認することとしており、合理的な支出に努める。
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	中核機関群にはヒアリング等により支出の確認・指導を行い、費目・使途を精査し、真に必要なものに限定して実施する予定である。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	予算の執行状況の確認を行い、コスト削減及び効率化につながるものがあれば、それを次年度の補助金交付額の決定に反映させる予定である。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	-
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	事業運営にあたっては、別途、有識者による評価・指導及び助言を行う体制を整備することとしており、具体的な指標の設定の下、適正な進捗管理を行う体制の構築が確保されているため、効果的な実施が見込める。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	-
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-
	事業番号	事業名	
点検・改善結果	点検結果	研究DXにより新たな科学的手法の発展や魅力的な研究環境の構築、生産性の向上を実現するためには、様々な分野と連携した研究データ利活用の仕組みを構築することが必要。オープンサイエンスとデータ駆動型研究を促進することで、科学的・技術的のみならず、社会的・経済的にも意義があることが期待されるため、本事業は優先度の高い事業である。	
	改善の方向性	本事業運営に当たっては、有識者による評価・指導及び助言を行う体制を整備することとしている。適正な進捗管理を行う体制の下、研究データの利活用促進に向けて、事業を推進していく。□	

外部有識者の所見

外部有識者による点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

事業の実施状況等を踏まえ、適切なアウトカムの設定について不断の見直しを図ること。
引き続き事業の着実な実施及び適切な予算執行に努めること。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

事業の着実な実施及び適切な予算執行に努める。

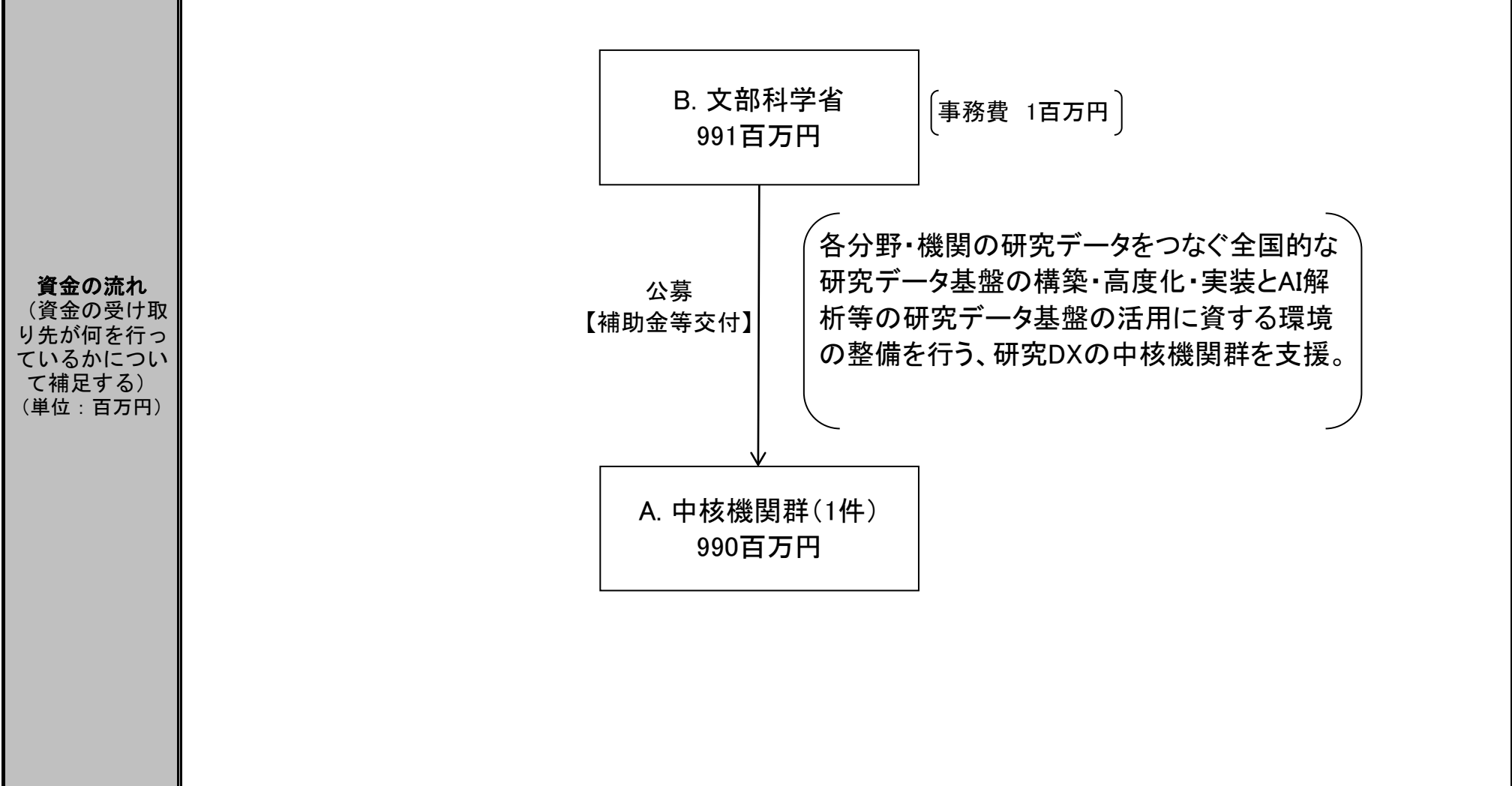
備考

関連する過去のレビューシート of 事業番号

平成23年度				
平成24年度				
平成25年度				
平成26年度				
平成27年度				
平成28年度				
平成29年度				
平成30年度				
令和元年度				
令和2年度	文部科学省			
令和3年度	2021 文科 新22 0015			

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

なお、金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。



費目	A.		金額 (百万円)	費目	B.		金額 (百万円)
	用途	金額 (百万円)			用途	金額 (百万円)	
-	-	-	-	-	-	-	-

「費目・使途」(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載す

る。費目と使途の 双方で事情が分	計		0	計		0
---------------------	---	--	---	---	--	---

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	-	-	-	-		-	-	-

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック 名	契約先	法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1		-	-	-	-		-	-	-